

渡辺重吉郎先生の長寿を祝う会

平成27年7月3日（金）にザ・クレストホテル柏（千葉県柏市）で「渡辺重吉郎先生の長寿を祝う会」を開催しました。

この会は、渡辺先生が88歳になられたこととお聞きし、鈴木正之・文子夫妻、大林修一・山口まりが発起人となり、昭和50年前後に農場研究室に集った方々を中心に80名ほどの方にご案内をいたしました。

当日は、30名が出席。渡辺先生にひとかたならぬお世話になった面々が、日本各地ばかりでなく中国からも先生への感謝とご長寿を祝して、駆けつけてくれました。

大林修一氏の司会で会を進行し、発起人代表として鈴木正之氏が挨拶、つづいて高垣 美智子教授からお祝いの言葉、花束贈呈・記念品贈呈に続き、渡辺先生にご挨拶をいただきました。先生は、千葉大学にかかわりを持ったいきさつや昭和20～30年代の花弁研究室の様子などを話されました。乾杯の発声は、中国浙江省から参加してくれた肖建成氏が行い、会食・歓談になりました。

当時、農場研究室には、学科・学年をこえるばかりでなく、学外の方も出入りしており、卒業後は、なかなか会う機会も無いことから、この会は渡辺先生の長寿をお祝いすることが主なのですが、一部同窓会的な意味もありました。渡辺先生を囲んでの歓談はもちろんですが、数十年ぶりの再会にあちこちで話の花が咲き誇っていました。

最後に参加者全員が近況を報告し、先生の矍鑠たる姿に元気をいただきつつ「次回は、渡辺先生の卒寿のお祝いで…」を約束して、お開きとなり、2次会・3次会へと名残り尽きませんでした。

渡辺先生の胸には藤岡美奈子氏作成のカトレアのコーサージュ。会場は、長野県の鮎沢正浩氏のカーネーションとアジサイの切り花、千葉県鈴木正之氏よりアガパンサスの切り花、福島県の草福晃氏の鉢花で華やかに彩られました。

